

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

西川 博会長 年度目標
“ロータリーの輪を広げよう”

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 矢野雄嗣



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 西川 博
幹事 加藤 久明

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第867回 例会No.6 平成25年8月8日(木) 晴

夏の家族会～ビアパーティ～18:30 クレストンホテル

- 出席報告 会員42名中20名出席
- 出席率 52.63% 出席計算人数38名
- 修正出席率 7月25日 94.44%
- ゲスト 会員ご家族友人 13名
入会予定者 十文字織栄さん
中部名古屋みらい RC 辻和余さん
犬山 RC 谷定貴之さん以下 30名
- ビジター (同日サイン受付)

会長挨拶

みなさん今晚は、今日も暑いですね。
今日は「夏休み家族例会～ビヤパーティ～」です
会員、家族、そしてお友達のみなさん、ようこそおいで
くださいました。心から歓迎申し上げます。
ハワイアンとフラダンスを親睦活動委員長 若原正幸さん
はじめ委員のみなさんが企画していただきました
ケン永谷とホノルルハワイアンズ、フラ 大川晴子のみ
なさんのハワイアンミュージックとフラ、そして生ビール
と食事を楽しんでいただき
と思います。
いま一番暑いときですが今日
はビアパーティ日和です。大
いに楽しんで、暑さを吹き飛ば
しましょう。



ニコBOX

中部名古屋みらい RC 辻 和余さん

先日のキタムラではお世話になりました。本日はコンサ
ートの宣伝をさせていただきます。宜しくお願い致します。

田島さん 本日は3名のゲストをお呼びしました。皆様、
僕の先輩です。宜しくお願いします。

岩田さん あつい!

●本日は「夏の家族会＝ビアパーティ＝」です。ゲストの
皆さん、ようこそお越し下さいました。夕方とはいえ、暑さ
指数がまだまだ高いです。熱中症に気をつけて、楽しく過
ごしましょう!

西川会長、加藤幹事、小菅、和田、磯部、立石、林昌義、
藤田、池井戸、川原、河原、松尾、永井(敬称略)

本日合計 34,000円

家族会風景





**ロンD. パートン RI会長メッセージ
(ROTARY JAPAN WEBより抜粋)**

「ロータリーを実践し将来につなげる」

親愛なるロータリアンの皆さん、2013-14年度の私たちの目標は、「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」です。ロータリーが良い活動を実施するための驚異的な潜在能力があることは、私たち皆が知っています。今こそ、自分たちがこれまで以上に、どれだけ多くのことをできるのかを認識し、自分たちの秘めたる能力を表に出し、新しい方法で活動を始めます。ロータリアンが携わること、すなわちロータリアンが参加することで、ロータリアンがやる気を起こすことで、そしてすべてのロータリアンがロータリーから与えられた贈り物を確かめることで、私たちはこのことを実践していくでしょう。

ロータリーを育てる

ロータリーで行う活動は、確実で、効果的で、持続可能であることを私たちは確認するでしょう。そして2015年6月末までに、ロータリアンを130万人に増やすという目標

を達成することで、ロータリー自体が永続的であるようにしていくでしょう。

この目標は、今までの会員増強の目標とは少し異なります。この目標は単に新会員を連れてくるということだけでなく、ロータリーが成長することです。単に会員を増やしてロータリーを大きくするのではなく、私たちを将来に導いてくれるような、ロータリーに関わり、実践し、やる気のある会員を増やしてロータリーを成長させるという目標です。

ロータリーに入った理由はそれぞれ異なりますが、世の中を良いものにしたいという思いは皆同じだと私は信じています。皆、意味のあることをしたいと思っています。このことは私たちが会員増強について話す時、心に留めておくべき、とても大切なことです。

私たちは誰彼構わずロータリーに誘っているわけではありません。魅力があり、忙しく、成功していて、やる気があり、他人のことを気遣う人を求めています。私たちは貴重な時間をロータリーに捧げてくれるよう頼みます。そして、それらの人たちが「はい」と言ってクラブに入会したら、私たちは彼らにロータリーのために費やされる時間が有意義だということを示さなくてはなりません。

与え、そして得る

それぞれのクラブに所属する、一人ひとりのロータリアンがクラブや地域社会に実際に影響を与えるような意味のある仕事を実施しなければなりません。皆さんがロータリーで意味のあることを実践していれば、ロータリーは皆さんにとって意味のあるものになるからです。

ロータリーにおいて、私たちは皆、与えるものを持っています。生活やキャリアが違っていても、ロータリーには私たち皆のための何かがあります——私たちにより多くのことをさせる手段、私たちの存在感が増す手段、そして私たちにより多くを与えることができる手段など——。ロータリーは私たちの人生に、より大きな意義、目的、そして充実感を与えてくれます。そしてロータリーを通して私たちが多くを与えるほど、ロータリーから私たちが得る見返りは大きいものになるでしょう。

**ハイライトよねやま161号からの抜粋
(WEBより抜粋)**

来春採用の奨学生募集がスタート

2014年4月採用の新規奨学生募集が始まります。地区米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で531校(前年度500校)、指定校からの被推薦者数は1,543人(前年度1,490人)で、この中から新規採用奨学生約500人が選ばれます。

地区奨励奨学金(大学・大学院以外の教育機関を対象とするプログラム)を導入した地区は、過去最多の7地区13校。また、指定校に対し、全国共通の応募資格に加えて、地区独自の要望を提示したのは34地区中29地区でした。要望は「国籍が偏らないよう配慮を」が最も多く、日本語運用能力や応募者の学年についての要望などが続きます。

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎8月22日(木)第 868 回例会「会員卓話」矢野雄嗣さん

◎8月29日(木)第 869 回例会「会員卓話」田島陽介さん